広報にいつ
発行所 新潟市役所 電話代表55番
発行人 笹田繁雄
印刷所 東洋館印刷所
毎月一回5日発行
(定価一部2円)

人口動態(8月31日現在)

世帯数	9,499		
人口	53,216人		
7月中			
出生	51	死亡	23
転入	160	転出	127
婚姻	14	離婚	3

水道拡張に総合研究

収入・支出のバランスなど諸計画に

調査委設置で対処

水道施設が年々拡張され、市から郊外地域へも及ぼうとしているが、これらについて今後は市と議会とで総合的調査研究の上に行うべく、このほどその調査機関として次の水道拡張計画臨時調査委員会を設けた。

すなわち本年度から水道料が約二割五分値上げになったので、当初予算編成の際より、その原因が、人件費、電力料の値上げによることは勿論であるが、その原因の一部が、収入支出のバランスのとれない部落拡張にあるとなし、市議会において論議が交された。当時市長より、今后の拡張については、水道の施設が消防設備に欠如及ぼす影響、その他凡ゆる角度から綜合的に調査研究を遂げ、一般会計より水道会計へ、何後得策なるかを、当局より、提出されたが、既往その原因が、人件費、電力料の値上げ等の、基本的方針につき議会と共に調査したき旨了解を求めておいたが、この程その調査諮問機関が設けられたものである。なお第一回委員会は八月三十日開催した。

調査委員会委員

市議会水道常任委員長杵屋三郎　水道常任委員長河田久吾　甲田耕作　荒木宗作　五十嵐友太　永井義男　佐藤治　渋谷清　宇野義司　斎藤徳二　山田六郎　総務常任委員長寄木省三　文教常任委員長小川安太郎　厚生委員長小出源吉　商工常任委員長石山常一　農林常任委員長瑞穂修吾　土木常任委員長梁原平作　消防常任委員長目黒光弘　議運委員長佐々木信作　市議会議長石崎文吾　同副議長石川弥太郎

秋菊咲く

並ぶには楽しき秋花菊　安岩

この頃、市内花屋さんの店頭にはもう清麗な秋菊が目見得、大輪にして送られてくるもの。お値段は一本十円から二十五円位までで大体昨年と同じ位。……

隣県長野市、関花として送りこんでいる。

○…瓶池は地元小合と市内の花屋に送られている。

○…中秋の四月もやがて

ことしゃ豊年！供米始る

蒲原のトップ古津の長谷川さん

新潟松坂は民謡の発祥地

モチ米では県下のトップ　供出では三番目の古津　長谷川さん全津農協第二金庫に…ショトン！と持ちこんだ

稀有の豊作といわれる、蒲原平野には黄金の穂波が渡打っており、市の農家でも九月五日頃から稲刈りがはじめられるが、古津の長谷川万次さんは八月十八日蒲原地方のトップを切って山崎モチ二俵を供出した。長谷川さんは昨年も郡内のトップ。今年は天候に恵まれて、昨年より一カ月早く二年連続の初供出を送げた。(写真提供)

空前の人出

人気沸騰の松坂流し

豪華夏まつり幕とじる

るものとして、全国的に高評を博し限りない郷土の誇りであるが、孤年夏まつり行亦の一環として行われている松坂の市内流しも、年を追って盛大となり本年は参加人員といい、観衆といい熱前熱后を通じて、最大で全く偉観を呈するに至った。新潟市でも本年から商工祭の前夜祭に、佐渡窪流さには驚異の眼を見張っていた。

今后は一層改善して市民の誰もが気安く参加できるようにし、一大リクリエーションを展開すると共に、名物の名に恥じない対策を講ずることになっている。

幕を開いた、蒲原平野の稲刈りは何れも豊作の様子で、中心となった近郷民謡踊り市流しを始め、十日の仮装コンクール、十日、十五、十六日の松坂市内流しは何れも数万の観覚客で新潟市交通止の盛況裡に終了し、近年にない賑わいをみせた。

仮装コンクール、仮装市内流しは新潟夏まつり協賛会から賞金と賞品が贈られた。

入賞は次の通り。

仮装コンクール

団体入賞

一位　桃太郎　日本通運株式会社新潟営業所

二位　フラダンス　新光

三位　孫悟空　二福商店

四位　野狐三次　駅前商店街協同組合

五位　石炭山　山田商店

個人入賞

一位　一寸法師　山田正雄

松坂仮装市内流し

十四日入賞者

一等　稲葉の白兎　二人

二等　花咲爺さん　二人

三等　見返りビューティ　二人

四等　巡礼　二人

五等　八百屋お七　二人

十五日入賞者

一等　鳥追金次郎　二人

二等　源氏店定九郎　二人

三等　三宮公園　二人

四等　水戸黄門　二人

五等　和撲　二人

十六日入賞者

一等　獅子舞　二人

二等　牛若丸と弁慶　二人

三等　東海道五十三次　二人

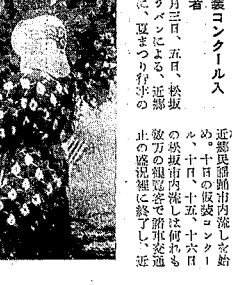
四等　文福茶釜　三人

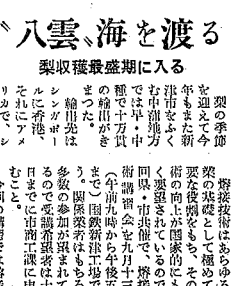
五等　文福茶釜　三人

(写真上は近郷民謡踊りに出場の"松坂"下は仮装コンクール等の一寸法師)

敬老会、十五日に

"敬老会"は九月十五日老人の日に市・間祝会福祉協議会・同教育委員会共催で第二小学校で市内七十七才以上の高令者を招待して開催する。





八雲、海を渡る

梨収穫最盛期に入る

九月十三日、国鉄新津工場で

電弧熔接技術講習会

梨の季節を迎えて今年もまた今年もまたこの秋、新潟市をもう一度、八雲号の親爺さんが、シンガポール、香港に送り、それにアメリカ、ヨーロッパ、南米諸国に輸出する。

輸出先は多数の参加が見込まれるので受講希望者は十二月までに市商工課に申込むこと。

今回の講習では熔接技術の向上を図るため、行われるもの。

○講習内容

1 最近の熔接技術

2 電弧熔接棒の選び方と使い方

3 実演と実習

4 技術映画

○受講料　無料

(商工課)

電弧熔接技術講習会

九月十三日、国鉄新津工場で

梨の季節を迎えて今年もまた今年もまたこの秋、新潟市をもう一度、八雲号の親爺さんが、シンガポール、香港に送り、それにアメリカ、ヨーロッパ、南米諸国に輸出する。

輸出先は多数の参加が見込まれるので受講希望者は十二月までに市商工課に申込むこと。

今回の講習では熔接技術の向上を図るため、行われるもの。

○講習内容

1 最近の熔接技術

2 電弧熔接棒の選び方と使い方

3 実演と実習

4 技術映画

○受講料　無料

(商工課)